

令和3年 網走市議会  
文教民生委員会 会議録  
令和3年9月28日(火曜日)

○日時 令和3年9月28日 午前11時17分開会

○場所 議場

○議件

1. 議案第1号 令和3年度網走市一般会計補正予算中、所管分

○出席委員(6名)

委員長	松浦敏司
副委員長	近藤憲治
委員	石垣直樹
	金兵智則
	工藤英治
	澤谷淳子

○欠席委員(0名)

○議長 井戸達也

○委員外議員(0名)

○傍聴議員(5名)

立崎聡一
永本浩子
平賀貴幸
古田純也
村椿敏章

○説明者

副市長	後藤利博
新型コロナウイルスワクチン接種推進室長	桶屋盛樹
新型コロナウイルスワクチン接種推進室次長	永森浩子
新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事	江口優一

.....

教育委員会教育長	岩永雅浩
学校教育部長	田口徹
学校教育部次長	小路谷勝巳

学校教育課長 小松広典

学校教育部参事 高橋善彦

○事務局職員

事務局長	林幸一
次長	石井公晶
総務議事係長	法師人絵理
総務議事係主査	寺尾昌樹

午前11時17分開会

○松浦敏司委員長 ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、付託された議案1件について審査いたします。

それでは、議案第1号令和3年度網走市一般会計補正予算中、当委員会所管分のうち、新型コロナウイルスワクチン接種事業について説明を求めます。

○江口優一新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事 追加議案資料7号の6ページを御覧願います。

令和3年度一般会計健康管理費、新型コロナウイルスワクチン接種事業の歳入歳出予算の補正につきまして御説明いたします。

1の補正の理由及び内容であります。国の補助金を活用し、ワクチン接種における実施体制の整備を行うため、本年8月から11月までに必要となる経費として、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業国庫補助金の所要見込額調査において報告し、既に交付上限額として通知のあった次の経費を追加補正するものでございます。

経費の内訳であります。会計年度任用職員への報酬として7万5,000円、職員及び会計年度任用職員への手当等として1,859万9,000円、会計年度任用職員の共済費として174万円、同じく会計年度任用職員への交通費として53万4,000円、接種証明書発行事務消耗品として1,000円、電話料等役務費として16万3,000円、会場スタッフ委託料など委託費として699万円を計上し、総額2,810万2,000円となっております。

2の補正額であります。歳出予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、(1)

歳出予算に記載のとおりとなり、財源内訳は全額国庫補助金となります。

歳入予算における補正前の額、補正額、補正後の額につきましては、(2)歳入予算に記載のとおりとなっております。

説明は以上でございます。

**○松浦敏司委員長** それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ないようですのでお諮りいたします。

議案第1号令和3年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、新型コロナウイルスワクチン接種事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決定されました。

次に移ります。

議案第1号令和3年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、小学校貸出用通信機器整備事業と、中学校貸出用通信機器整備事業については、関連がありますので一括して説明を求めます。

**○小松広典学校教育課長** 議案資料の7ページを御覧願います。

令和3年度一般会計補正予算のうち、小学校学校管理費、小学校貸出用通信機器整備事業について御説明申し上げます。

補正の理由につきましては、国の補助金を活用し、休校時に在宅で学習できるようインターネット環境のない家庭に貸し出すモバイルルーターを整備するため、追加補正しようとするものでございます。

事業の内容について御説明いたします。

昨年度、国の補助金を活用し、最大規模の学校の休校を想定し、小中学校合わせて180台のモバイルルーターを整備したところですが、市内全校休校時にも在宅で学習できるようにインターネット環境のない家庭へ貸し出すモバイルルーター、小中学校合わせて100台を追加で整備しようとするものでございます。

補正額につきましては、93万2,000円で財源につきましては2の(1)のとおりでございます。

続いて、議案資料の9ページを御覧願います。

令和3年度一般会計補正予算のうち、中学校学校管理費、中学校貸出用通信機器整備事業について御

説明申し上げます。

こちらも小学校と同様に、中学校分のモバイルルーターを整備しようとするものでございます。

補正額につきましては、62万2,000円で財源につきましては2の(1)のとおりでございます。

説明は以上です。

**○松浦敏司委員長** それでは質疑に入ります。

質疑ありませんか。

**○金兵智則委員** 何点かお伺いしたいのですけれども、一番初めにというか、昨年度でしたかね、小中合同で180台そろえたときの国の補助金の活用と、今回の補助金って同じものでしたでしょうか。

**○小松広典学校教育課長** 年度は変わっておりますけれども、同じものでございます。

**○金兵智則委員** わかりました。

それと前回180台をそろえて、最大規模の休校に耐えられるっていうので、今回は全校休校でも対応できるようにということで、100台を追加されるということなのですかけれども、前回180台用意したときって、今回180台用意するときには、これで大方向に合いますよというお話をされていたと思うのですが、それが全校休校の想定を前回ではしなかったけれども、今回はしたっていう理由ってなぜなのですか。

**○小松広典学校教育課長** 文科省の考え方ですか、道教委の考え方では、学級閉鎖それから学校閉鎖というのが流れではございますけれども、今後どのような形でウイルス感染拡大が進むのかどうかというのはわからないという中で、やはり学びの保障という部分が必要となることから、補助金を活用しまして、全校休校時にも対応できるように備えるという意味で今回補正予算を上げさせていただきました。

**○金兵智則委員** 全校休校に対応できるようにするのはわかるのですけれども、学びの保障を考えるならば前回それをやればよかったのであって、今回またこれを引っ張った理由って何なのですか、そうしたら。

足りるっておっしゃってましたよね、180台あれば対応できる台数ですって。

あれほど言っていたのですけれども、今回こうなったのは、なぜなのですか聞いていますよね。

**○小松広典学校教育課長** 前回につきましては、突発的な部分を想定しておりましたけれども、今回に

つきましては、変異株という部分もございますし、7月に従来株より感染しやすい可能性のある変異株についてという部分もございましたので、今後の全体的な市内の部分を考えてときに、やはり備えておくというところを今回判断させていただいたところでございます。

**○金兵智則委員** それだと、前はそれほど心配がないけれども、今回デルタ株が出てきたので全校休校になるかもしれないから慌ててそろえたのですよって意味なのですか。

それとも、調べてみると180台だとちょっともの足りなかったもので、今回100台で全校にしようと思ったのですか。

その理由が何かははっきりしないのですけれども、別にこれを駄目って言っているわけではないのですけれども、何かははっきりしないですよ。

前はあれほど、これで本当に間に合うのですかって聞いたときに、間に合いますって答弁していませんよ。

にも関わらず、今回こういうふうになったのはなぜなのですかって聞いているのですよ。

**○小松広典学校教育課長** 前回アンケートというスタイルで、必要台数については調査させていただいたのですけれども、今回モバイルルーターの持ち帰り訓練を実施するというところで、各家庭にですね、利用申込みする、しないという形で確実な数字を押さえたところなのですけれども、それによって世帯数では、モバイルルーターが若干不足するというような状況でございまして、これを全員に充てるときに100台程度の追加で全て賄えるという部分も一つの理由でございます。

**○金兵智則委員** ですよ、そういうことですよ。

うちも持って帰ってきましたし、アンケートも来ました。モバイルルーター必要ですか、どうですかっていうのも来ていました。

だから、その結果こういうふうになったということなのですよ。その説明をいただかないと、やっぱりわからないですよ。

前回から今回になったのに、それがあるからこうなったということですよ。

はい、理解はさせていただきたいと思います。

**○松浦敏司委員長** ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、お諮りいたします。

議案第1号令和3年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、小学校貸出用通信機器整備事業と中学校貸出用通信機器整備事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決定されました。

次に移ります。

議案第1号令和3年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、小学校教育活動継続支援事業、中学校教育活動継続支援事業について関連がありますので一括して説明を求めます。

**○小松広典学校教育課長** 議案資料の8ページを御覧願います。

令和3年度一般会計補正予算のうち、小学校教育振興費、小学校教育活動継続支援事業（令和3年度補正）について御説明申し上げます。

補正の理由につきましては、国の補助金を活用し、小学校の感染症対策等の徹底及び教職員に研修等の支援を行うため、追加補正しようとするものでございます。

事業の内容について御説明いたします。

この事業は既に交付決定を受けております、校長裁量で児童生徒数に応じた1校当たり80万円から160万円補助の教育活動継続支援事業に対し、最近の新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延による対策としての追加補助となりまして、各校への追加配分の内容につきましては、児童数が501人以上で20万円の追加については1校該当します。

それから、300人未満で10万円未満の追加につきましては、残りの小学校8校が該当します。

補助事業の目的は、教育活動継続支援事業と同じで3つございまして、1つ目には学校における感染症対策等支援として密閉、密集、密接を回避し、児童生徒、教職員等の感染症対策に必要な物品の購入費等に係る経費、2つ目には教職員の資質向上のための研修等支援として研修等に参加等をするための経費、3つ目には子供たちの学習保障支援として児童生徒の学びの保障のため、感染症対策等を徹底しながら、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動や家庭学習を実施する際に生じる経費とされております。

補正額につきましては100万円の増、財源につきましては、2の（1）のとおりでございます。

続いて、議案資料の10ページを御覧願います。

令和3年度一般会計補正予算のうち、中学校教育振興費、中学校教育活動継続支援事業(令和3年度補正)について御説明申し上げます。

こちらも小学校と同様に、生徒数が301人以上500人以下の1校が15万円の追加、ほかの5校が10万円の追加となるものでございます。

補正額につきましては、中学校分として65万円の増、財源につきましては2の(1)のとおりでございます。

説明は以上です。

**○松浦敏司委員長** それでは次に入ります。

質疑ございませんか。

**○金兵智則委員** 追加をされるということですが、これも、これ実態としてどうなのですかね。

各学校の使い方は、いろいろなかもしれないですけども、感染対策にはそれなりに手厚くいろいろとやられてきたのかなと思うのですが、研修にも使える、それから教育のほうでも使えますよって3項目があったと思うのですが、やはりこれ対策メインで使われたので、ほかの部分がちょっと足りないからってということなのでしょうか。

それとも、対策の部分もまだ足りないからということで追加されたら、その辺の実態はどうなっているのかなと思います。

**○小松広典学校教育課長** こちらにつきましては、最近のですね、新型コロナウイルス感染症のデルタ株の部分について、追加で必要な部分を手当てしていただくという趣旨の補助金というふうに伺っております。

**○金兵智則委員** 補助金の趣旨はそうなのでしょうけれども、かといって今までのコロナとデルタ株に変わったから対策がこう変わるの、このお金ですってわけではないですよ。

今までも対策はしてきているので、学校からの…校長裁量ですので、いろいろ上がってきますよね。

その中で、対策に係る経費が不足しているというのでそこに追加をしていきたいのか、対策は一通り終わったけれども、その分、今度は研修とかにも行っていないので、使えるからそっちに使っていかとかかかっていうのは、その辺は教育委員会で把握されていないのでしょうか、実態的に。

**○小松広典学校教育課長** 昨年の事業から引き続きというところもございますので、ある程度の備品については、そろってきているところなのですが

も、やはりそうですね、研修の関係ですとかというのも今回上がってきている部分もございまして、そのようなところを充実させたいという声も聞いているところではございます、学校の方からは。

ですので、今後についても活用の部分というのが期待されるということ、押さえているところでございます。

**○金兵智則委員** わかりました。

**○松浦敏司委員長** ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、お諮りいたします。

議案第1号令和3年度網走市一般会計補正予算中、所管分のうち、小学校教育活動継続支援事業、中学校教育活動継続支援事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでは、そのように決定されました。

これで文教民生委員会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

午前11時35分閉会